

通話録音システム構築

野村證券

2万8千台を管理

管理・運用の負荷が軽減

野村證券は、自社や営業店およびコールセンターなど全国約170カ所を利用する2万8000台の電話機の通話録音システムを刷新した。同システムは、電話機の通話録音システムとして、国内最大級の規模となっている。今回の刷新で、通話録音業者が提供する携帯電話での通話録音をできるサービスと連携し、社員用に配布したスマートフォンを対象とした通話録音が可能になり、社内の固定電話の通話録音との一元管理と運用を図り、企業内ネットワーク上において容易に検索・再生することができるようになった。

サーバー台数約半数削減

今回刷新したのは、事業者が提供する携帯電話での通話録音。野村證券の顧客や社員、コールセンターのオペレーターなどの通話内容を録音し、音声ファイルとしてデータ管理を行うシステム。今回の刷新で、通信

外出先でデータ管理

モバイル向けシステム構築

ファミリーマートは、業務効率化を目的としたスマートフォン向けシステムを構築した。同システムは、クラウド上でデータを管理し、外出先でもアクセスが可能になる。また、モバイル端末からデータを取得し、業務効率化を図る。今回、伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)のスマートフォン向けシステムを導入し、約2千人の店舗運営をサポートする。各担当者のスマートフォンから同一のデスクトップ環境へ

高速化・簡素化実現

公式サイトインフラ刷新

バンダイは、同社のECサイト「プレミアムバンダイ」のインフラ刷新を完了した。刷新後は、子どもから大人まで楽しめるバンダイの公式ショッピングサイトとして人気キャラクタ商品やパレール商品を発売しており、オンラインで気軽に購入できる。さらなるオンラインショップ増大にも対応できるように、データベース構築するために、データベース(DB)処理の高速

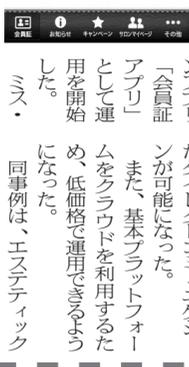
CRMツール導入

顧客にクーポン配信可能に

現在、スマートフォン普及率の増加により、各企業は、提供するサービスをスマートフォンへ対応させることが急務となっている。そのような中、エステティ



カードレスでサロンを利用できる



アプリでクーポン配信可能に

タル・コスト・オブ・オーナーシップ(TCO)を削減した。システムには、中核システムソフトとして日立情報通信エンジニアリングの音声録音システム「Recware III」、他拠点に渡る営業店での録音を図るために日立アドバンスドサービスの「HA8000」約4000台、仮想ファイルプラットフォーム「ヒタチ・ウイジェナル・ファイル・プラットフォーム」を構築した。

ファミリーマートは、業務効率化を目的としたスマートフォン向けシステムを構築した。同システムは、クラウド上でデータを管理し、外出先でもアクセスが可能になる。また、モバイル端末からデータを取得し、業務効率化を図る。今回、伊藤忠テクノソリューションズ(CTC)のスマートフォン向けシステムを導入し、約2千人の店舗運営をサポートする。各担当者のスマートフォンから同一のデスクトップ環境へ

データ転送時間短縮

高速転送システムを導入

映像の編集加工・コピーを行う日本ビデオ・アールは、顧客とのデータのやり取りを円滑に行うための「高速ファイル転送サービス」を導入した。映像業界では、映像・音声の取り扱い方法が複雑で、作業効率向上が求められる。今回、理経の高速ファイル転送システム「VTR」を導入し、約2千人の店舗運営をサポートする。各担当者のスマートフォンから同一のデスクトップ環境へ

不適切ページを制御

広告配信を高精度に判定

広告サービス事業を営むロケットは、同社の広告配信システム「Rocket」に「不適切ページ」を判定する機能を追加した。不適切ページとは、不適切な画像やテキストを含むページを指す。今回、ロケットは、不適切ページを高精度に判定する機能を追加した。不適切ページとは、不適切な画像やテキストを含むページを指す。今回、ロケットは、不適切ページを高精度に判定する機能を追加した。

大きく処理性能を向上

インメモリーでDB高速化

松井証券は、定型業務・非定型業務の両方に活用している情報システムの高速度化を目的に、既存のデータベース(DB)システムを刷新した。今回、松井証券は、定型業務・非定型業務の両方に活用している情報システムの高速度化を目的に、既存のデータベース(DB)システムを刷新した。

買い物時間に充電

充電インフラを導入

ジョイフル本田が始めた。ホームセンター小売業を行うジョイフル本田は、店舗に充電インフラを導入した。充電インフラは、スマートフォンやタブレット端末の充電に利用される。ジョイフル本田は、充電インフラを導入したことで、顧客の買い物時間を短縮し、利便性を向上させた。

子会社の管理業務を効率化

サイバーエージェント

サイバーエージェントは、子会社の管理業務を効率化するために、クラウドサービスを導入した。クラウドサービスは、データの一元管理とアクセスの容易さを提供する。サイバーエージェントは、クラウドサービスを導入したことで、子会社の管理業務を効率化し、業務効率を向上させた。

クラウドサービス事業

USE

USEは、クラウドサービス事業を展開している。クラウドサービスは、データの一元管理とアクセスの容易さを提供する。USEは、クラウドサービスを導入したことで、データの一元管理とアクセスの容易さを提供し、業務効率を向上させた。

トータルサービスインテグレーターとして

お客様にご要望を超えたサービスを提供します

USEは、本年で創業45年目を迎える独立系のトータルサービスインテグレーター企業です。

“サービスのご提供”を着眼点に、大手SIer様の優良ビジネスパートナーとしてこれまで数多くの大規模システムの構築に携わって参りました。更に、その経験で得た技術力・業務ノウハウを強みとして4つの事業(クラウドサービス/ERP/SI/システム運用)を軸に近年一般法人様とのお取引も積極的に行っています。

USEを、お客様のコアエンジンとして存分にご活用ください。本年もお客様のご要望を超えた「真のサービス」を提供して参ります。

株式会社ユー・エス・イー
代表取締役 吉弘 文平

クラウドサービス事業

Salesforce導入コンサル
社内システムのアウトソース化

ERP事業

PeopleSoft等の導入/運用
経営資源の有効活用

USE

SI事業

短期間でのシステム最適化
TCO削減

システム運用事業

運用業務の可視化/効率化
ヘルプデスク統合、運用統合

お客様

USEはオラクル社のSpecialization認定パートナーです

各官公庁様 入札資格ランク A

http://www.use-ebisu.co.jp